



個人投資家向け I R セミナー資料

東証スタンダード市場 証券コード:7677

株式会社ヤシマキザイ

2024年 12月 11日

(主催：公益社団法人日本証券アナリスト協会 会場：北浜フォーラム)

株式会社ヤシマキザイとは

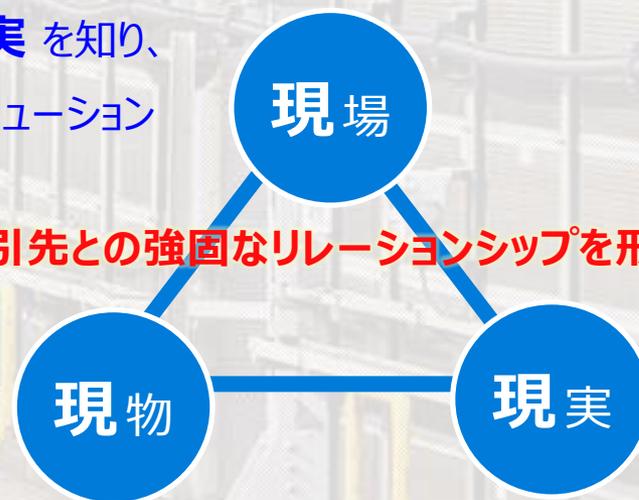
鉄道業界を主な市場として、商材やサービスを提供する商社です

3現主義を基軸に、鉄道業界で重要なポジションを確立しています

3現主義とは 10-500

顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れ、**現実** を知り、
顧客のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューション
を組み立てることを意図しています。

取引先との強固なリレーションシップを形成



1. 会社概要	P. 4
2. 特長と強み	P.16
3. 成長戦略	P.21
(2025年3月期～2027年3月期 中期経営計画)	
4. 2025年3月期 通期業績予想	P.30
5. 配当・株主還元	P.36
6. トピックス	P.39
7. ご参考資料	P.50

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。

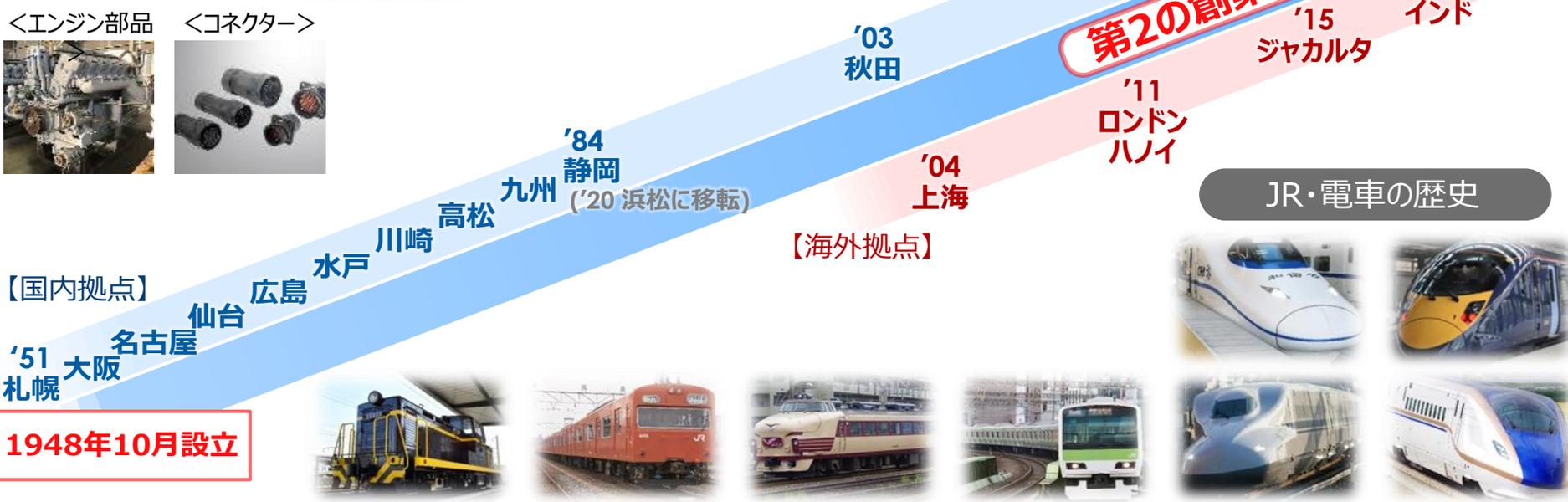


A blue-tinted photograph of a high-speed train on tracks. The train is sleek and aerodynamic, moving from left to right. Overhead power lines and support structures are visible above the tracks. The background shows some trees and a clear sky.

1. 会社概要

■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり76年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

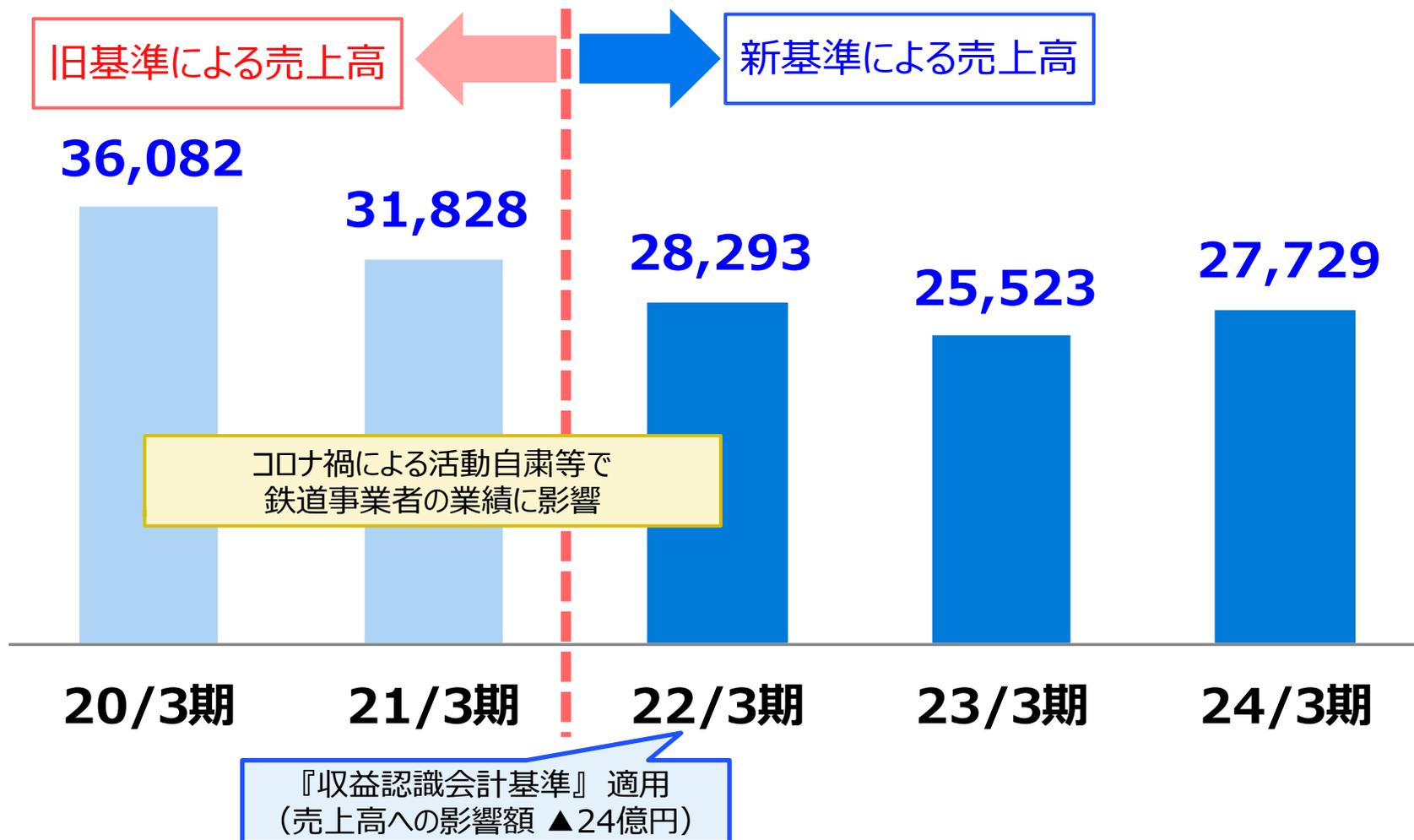


1948年10月設立



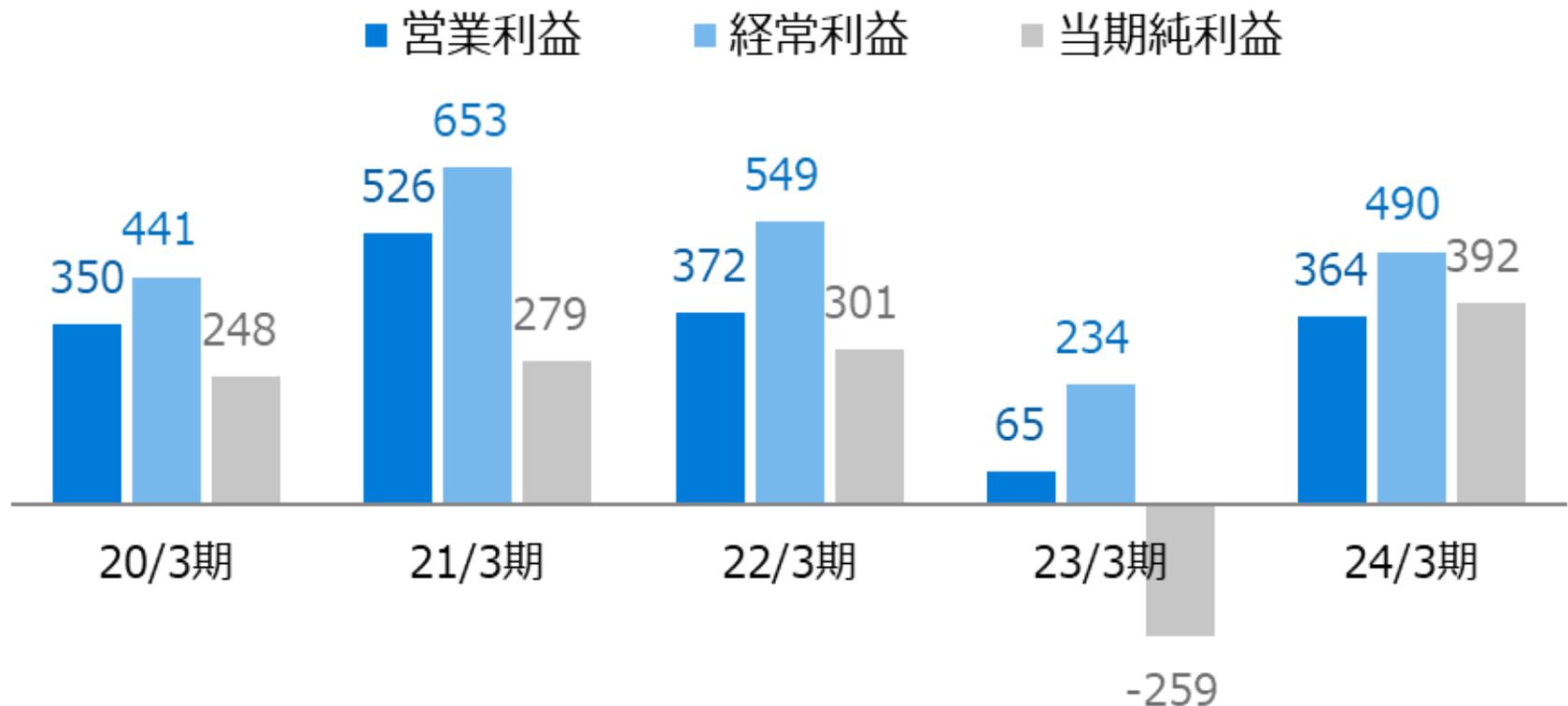
- コロナの影響が緩和され、主要顧客の鉄道事業者の業績は回復基調に入り、鉄道事業者の設備投資等も回復途上にある。23/3期案件の24/3期へのスライドもあり増収増益だが、コロナ前の水準までは届いていません。

連結売上高の推移 (百万円)



- 利益面は増収に伴い増益も、純利益は特別利益を除けばコロナ前水準には届かず
 - ・ **23/3期**は不適切な会計処理が発覚したため、売上の一部を取り消し、また中国子会社の一部取引については不正の疑いが払拭しきれなかったため、対象の取引先に対する未収入金について貸倒引当金（特別損失）を計上して最終赤字となりました。
 - ・ **24/3期**は回収された未収入金について、特別利益を計上したため、当期純利益が増加しました。

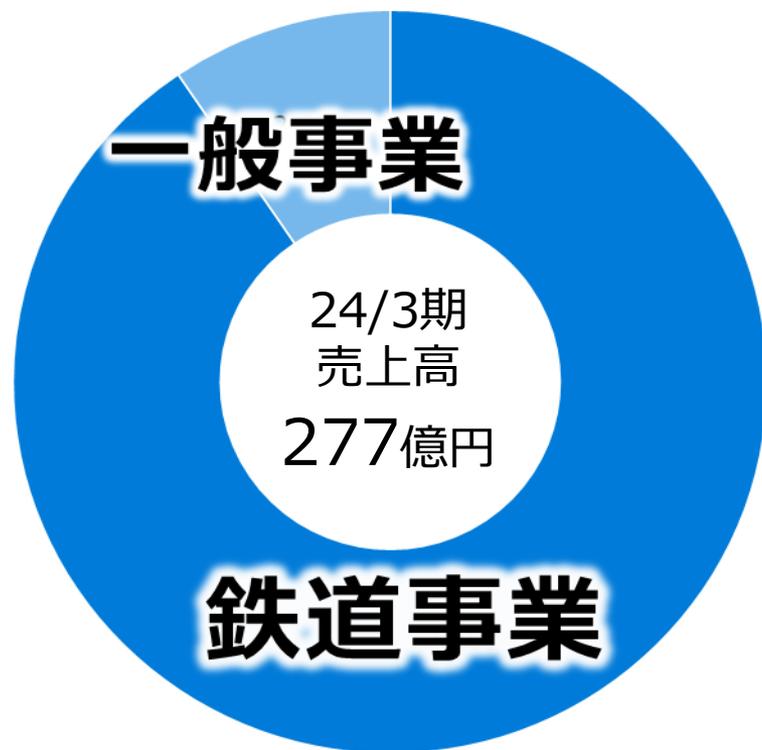
利益の推移（百万円）



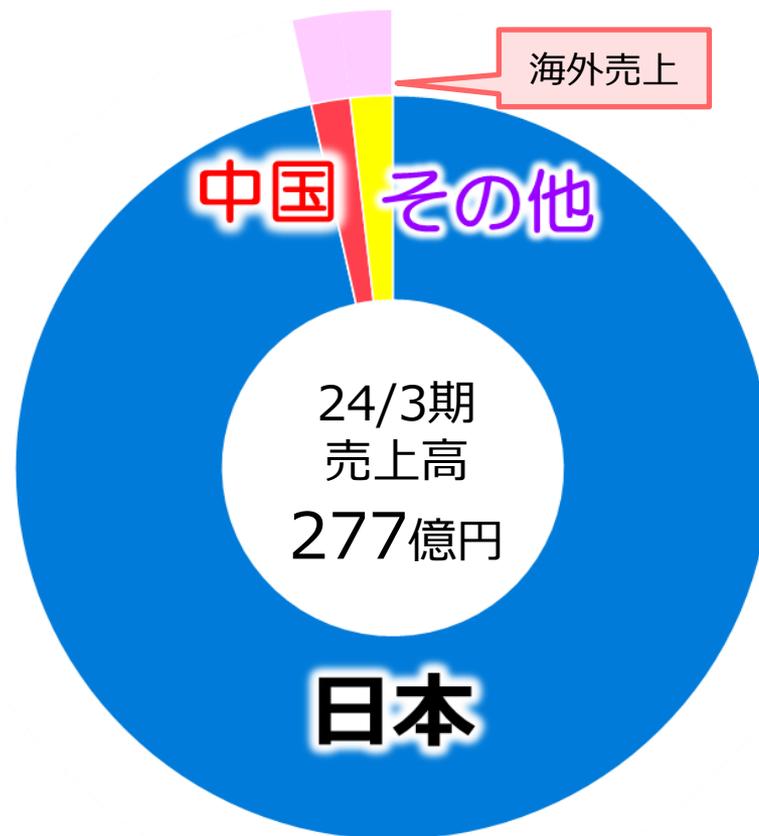
鉄道事業 鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売

一般事業 鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

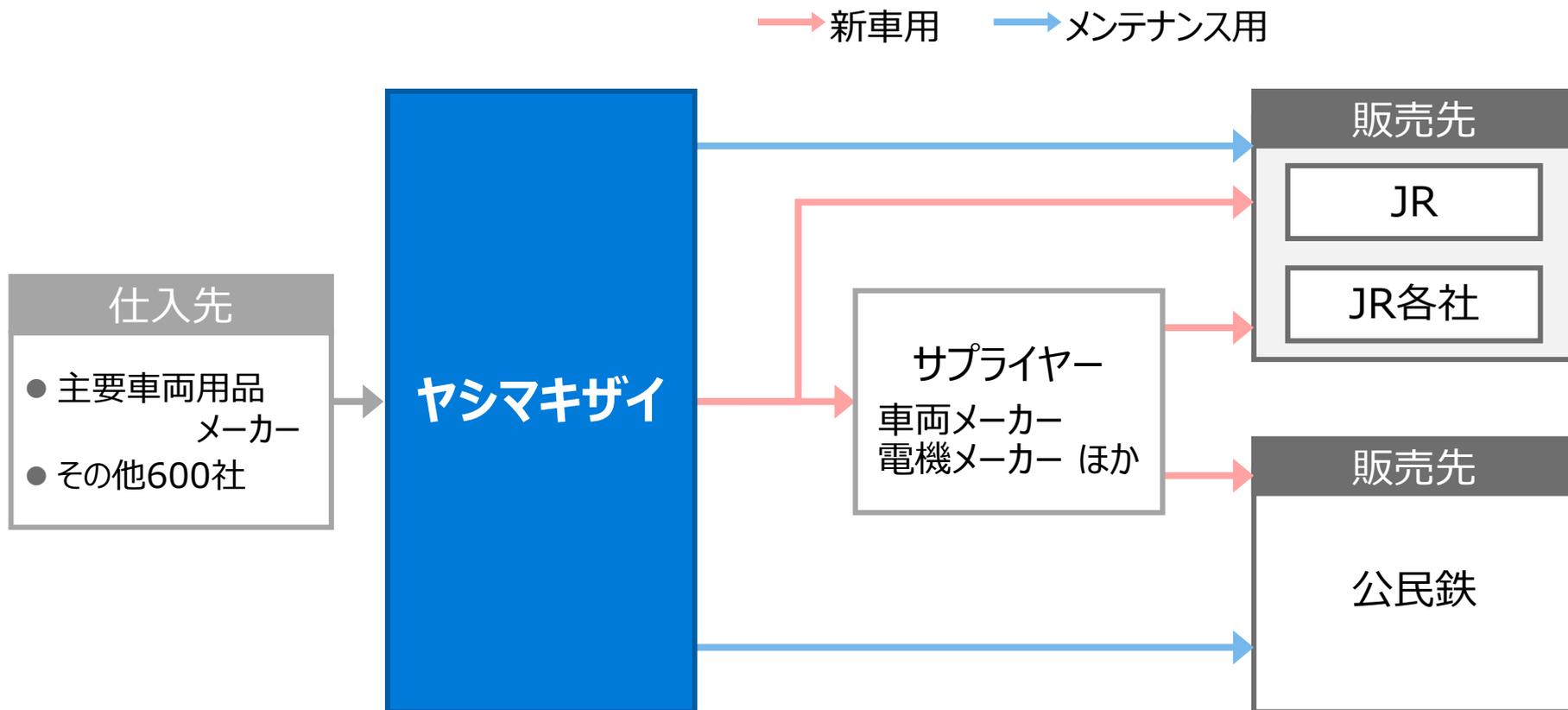
セグメント別 売上高構成比



地域別 売上高構成比



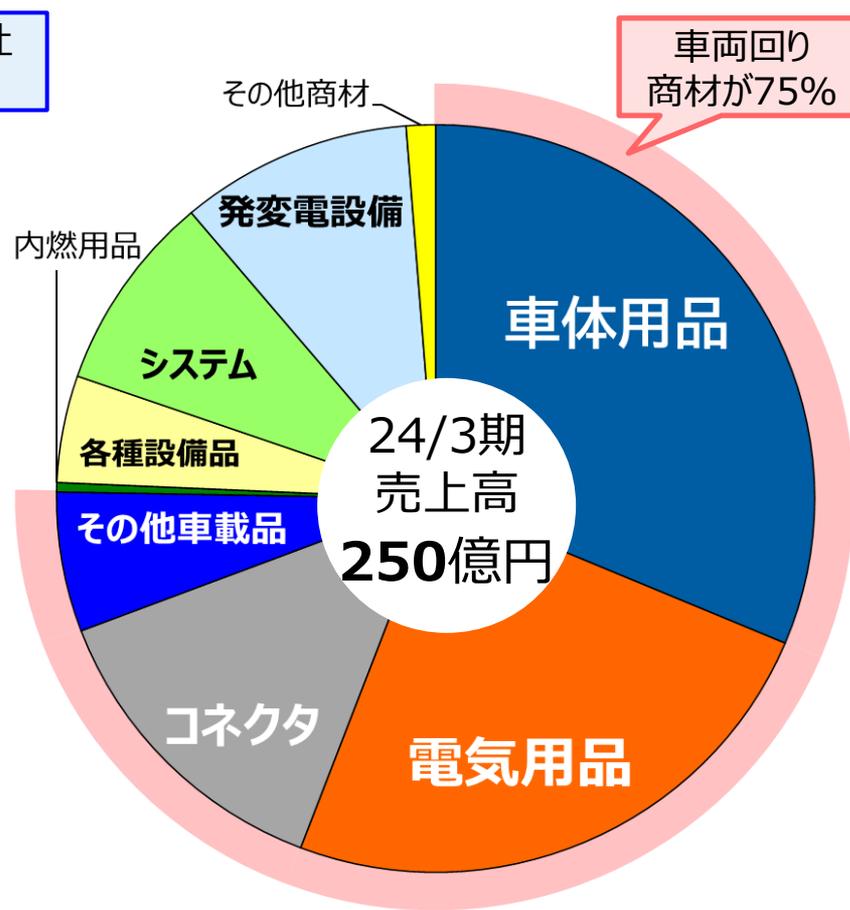
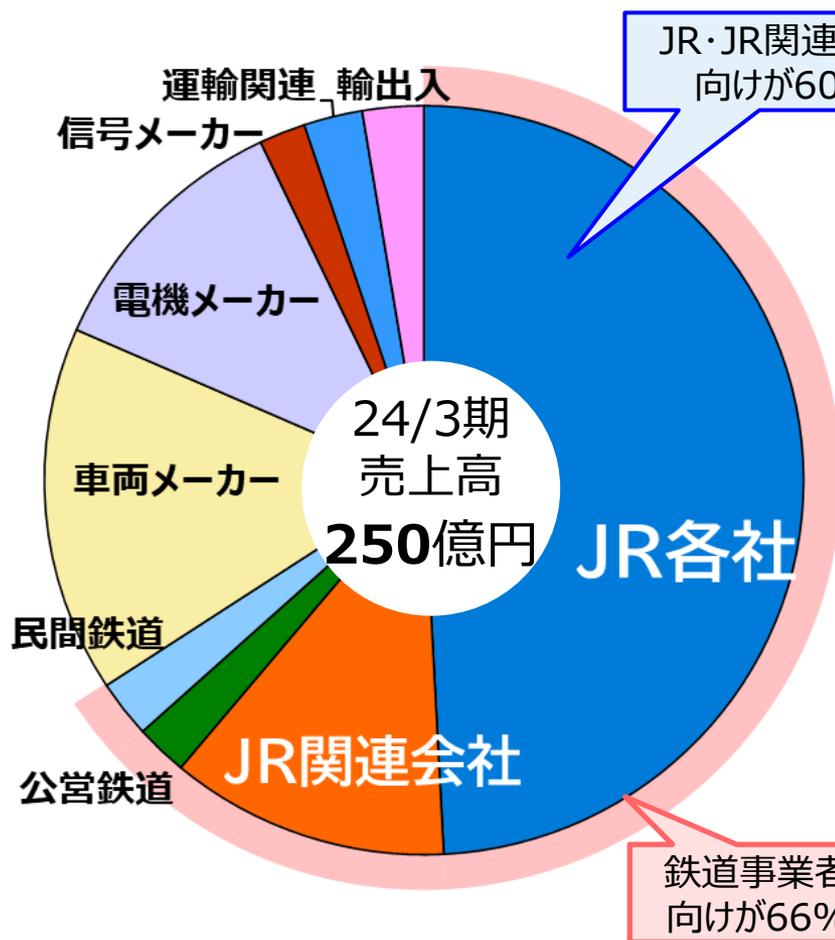
- 仕入先は**日立製作所**、**日本航空電子工業**、**ナブテスコ**、**コイト電工**などの国内有数メーカー
 - ◆ JRはじめ鉄道各社と仕入れ先を結ぶ重要なポジションで商材を提供



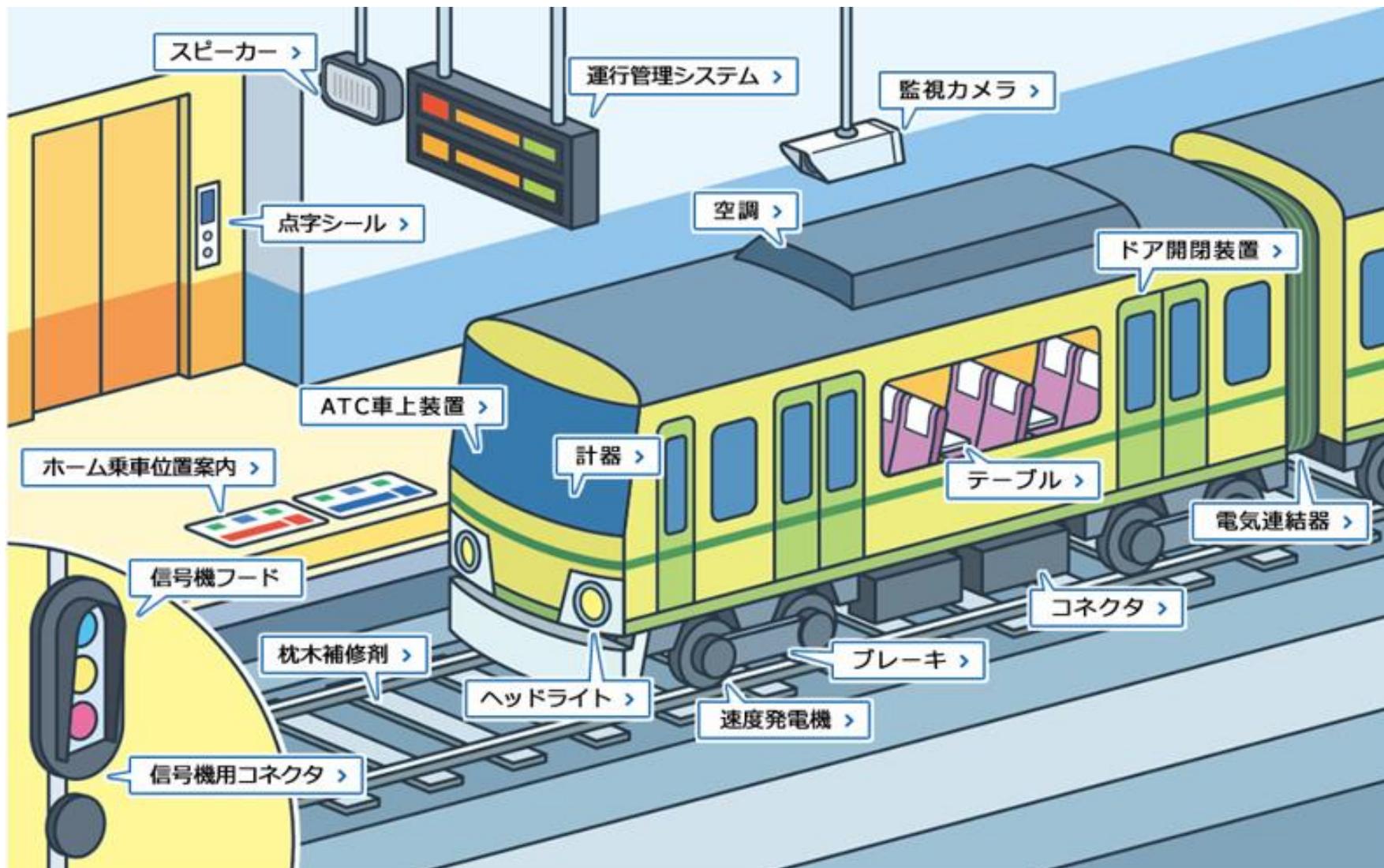
- 鉄道という特殊な条件に適合する**9**業界へ**9**商材を提供

9業界別 売上高構成比

9商材別 売上高構成比

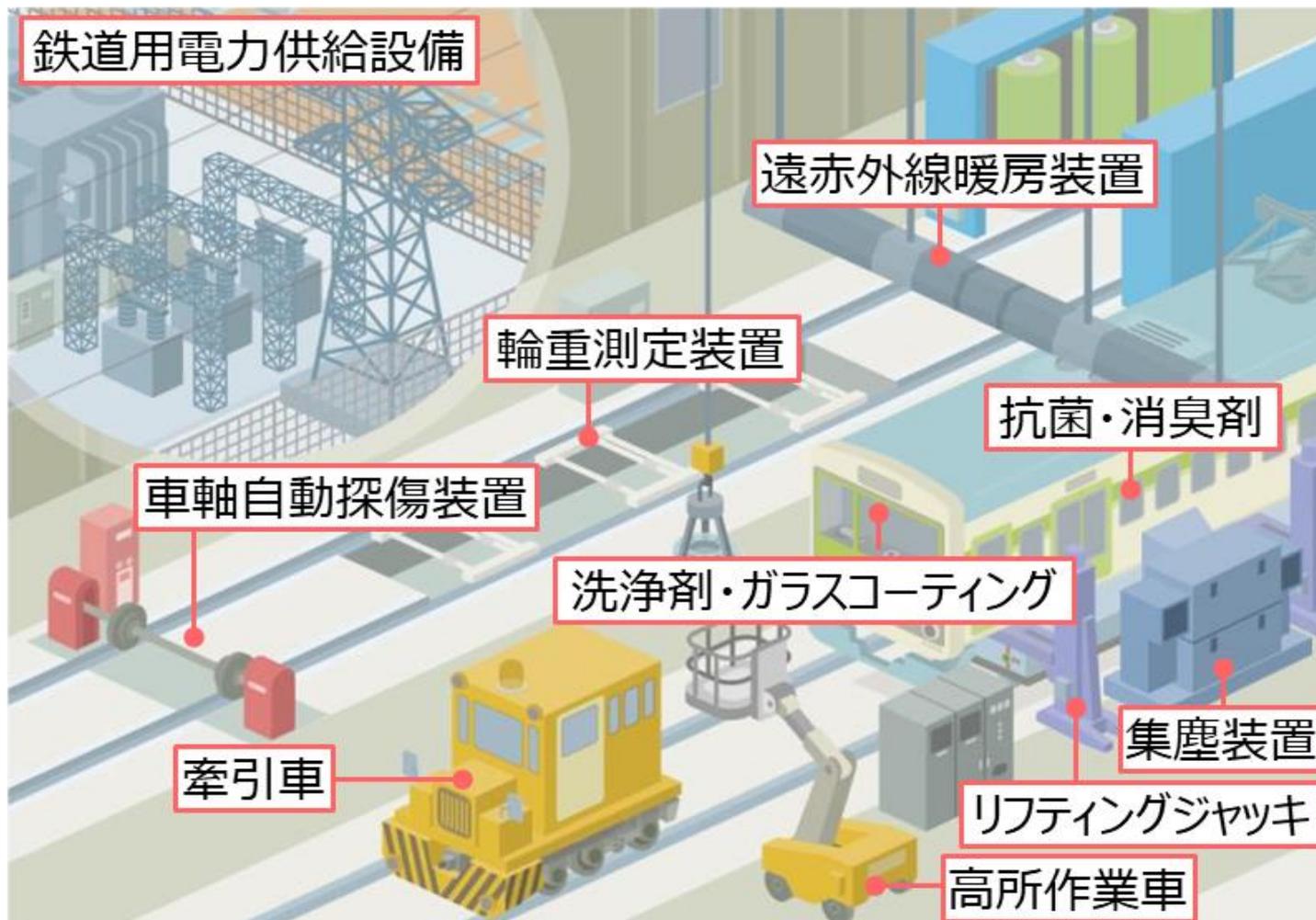


- 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連商材を取り扱う



■ 車両周り以外にも、幅広く鉄道業界を支える

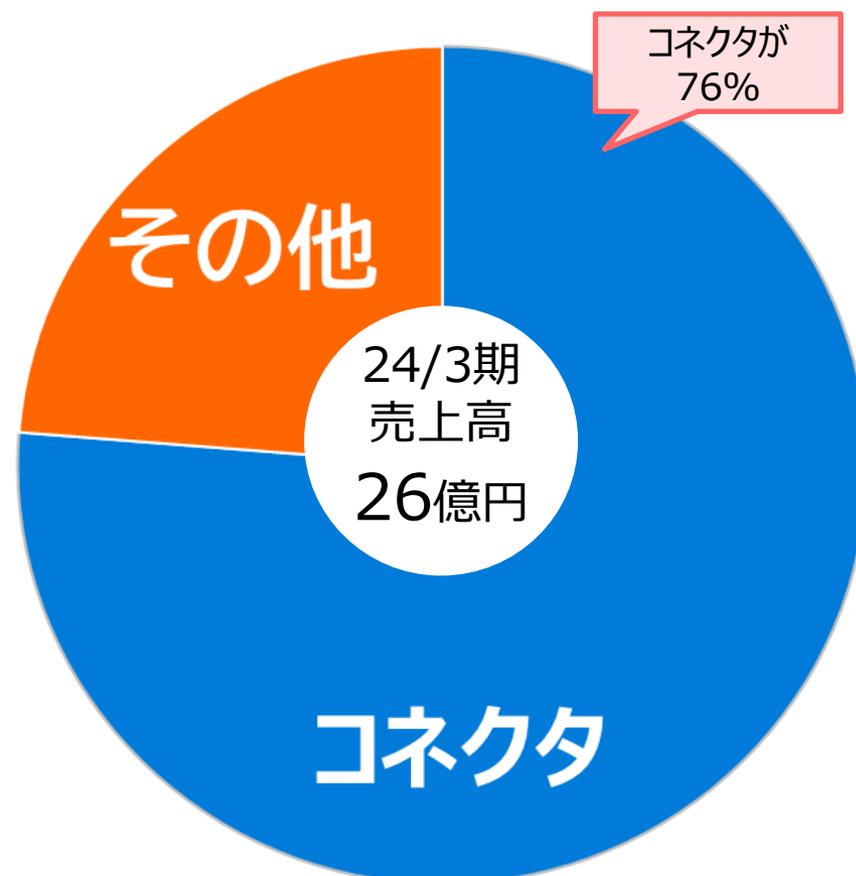
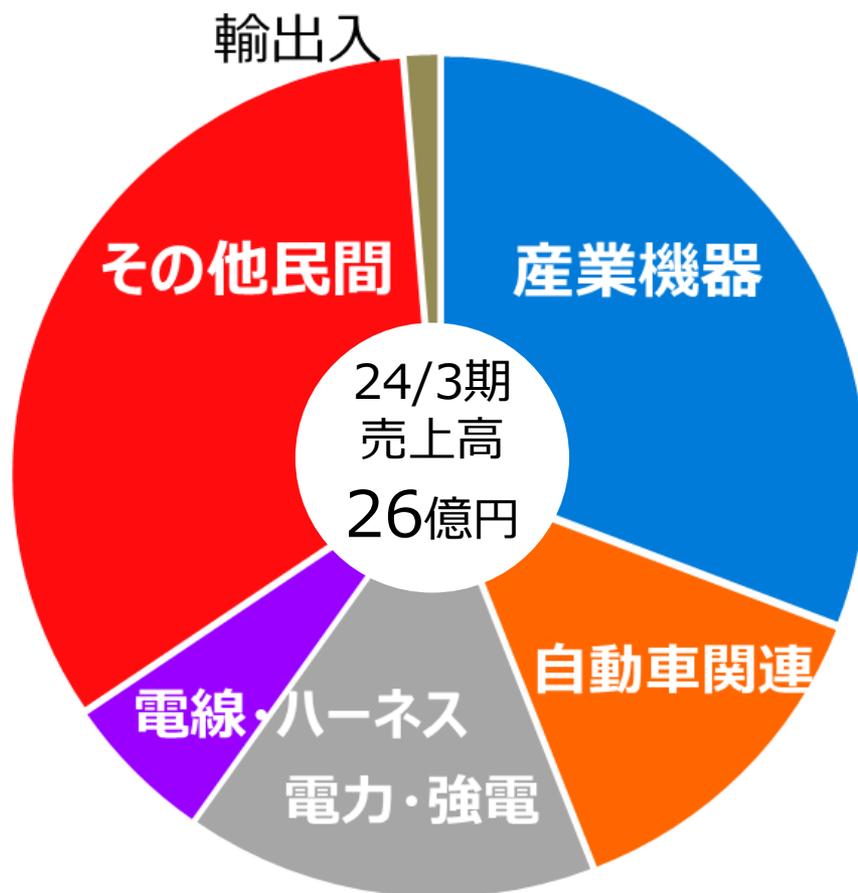
検修施設、駅などで使用するものや、電車の運行に必要なシステム、発電所・変電所の製品も扱う



- 鉄道事業における販売先以外の6業界へ、コネクタ・電子部品などを販売

6業界別 売上高構成比

商材別 売上高構成比



- 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売



- コネクタ以外の商材ラインナップも拡販中
(写真は道路インフラ業界向けに提案している商材)





2. 特長と強み

創業以来**76**年、**3現主義**で築き上げた、**顧客との強固なリレーションシップ**

1

高い専門性と3現主義に根差した商社機能

2

業界で唯一、北海道から九州まで、全国を網羅するサービス網

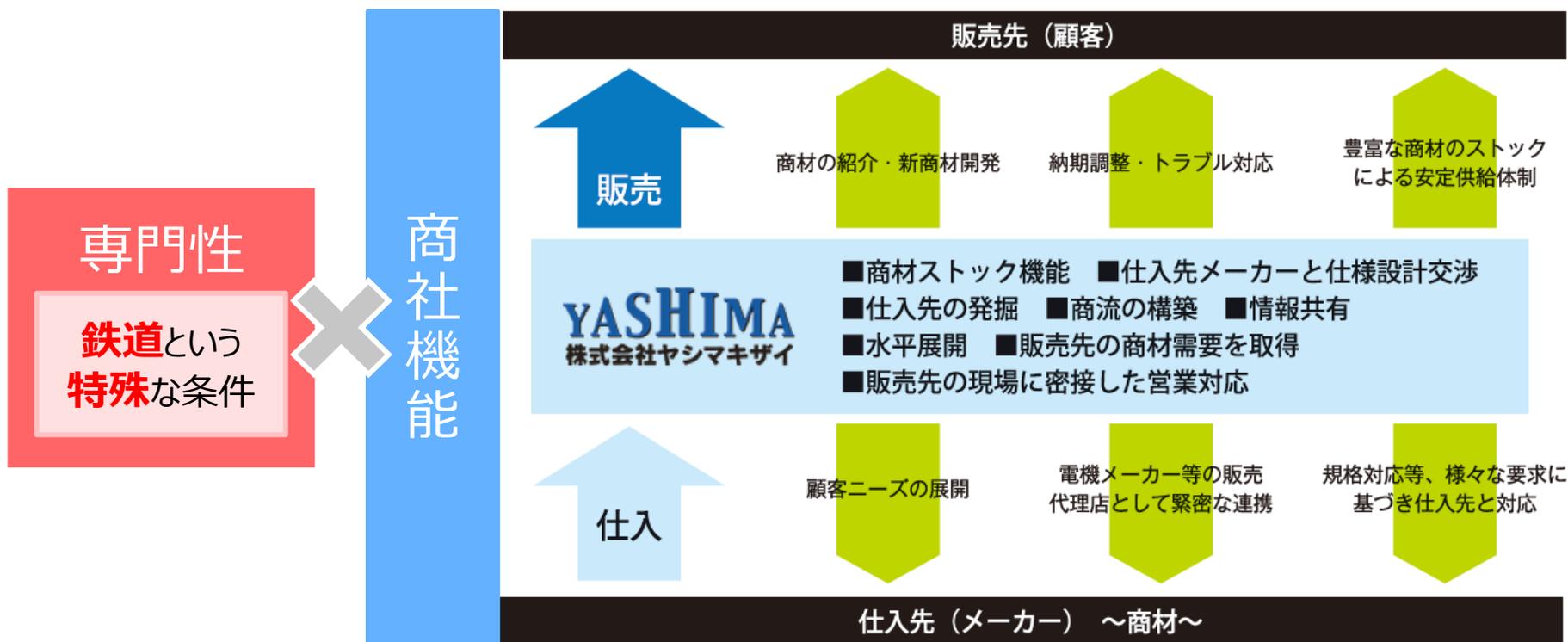
3

鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

①高い専門性と3現主義に根差した商社機能

- 永く鉄道業界で培ったノウハウと、約600社の仕入先・中小メーカーとのパイプを活かし、顧客の実情に合わせた様々な商材を提案

⇒ 専門商社として、鉄道という社会インフラを支える



■ 業界で唯一全国をカバーする現場力で差別化

大手企業ではカバーしきれない小回りの良さで、現場のニーズに根差した商品を提案

国内12拠点



東京本社



大阪支店



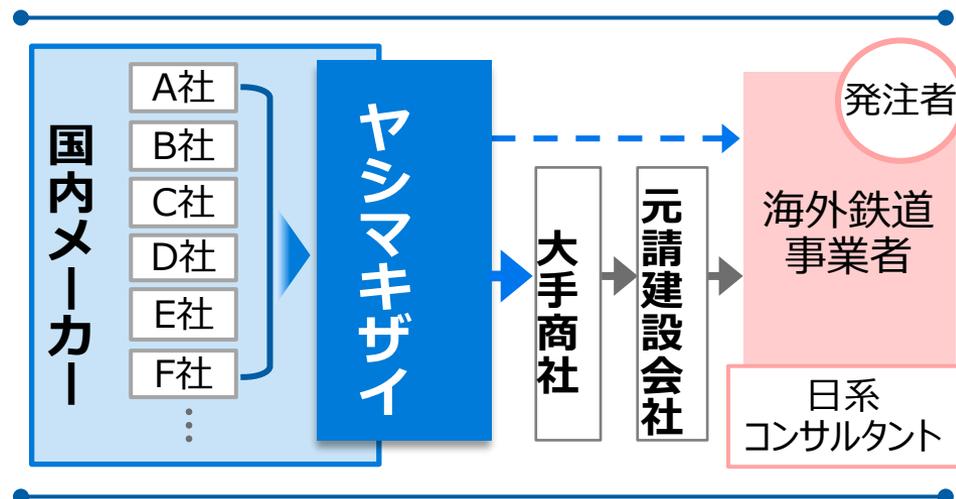
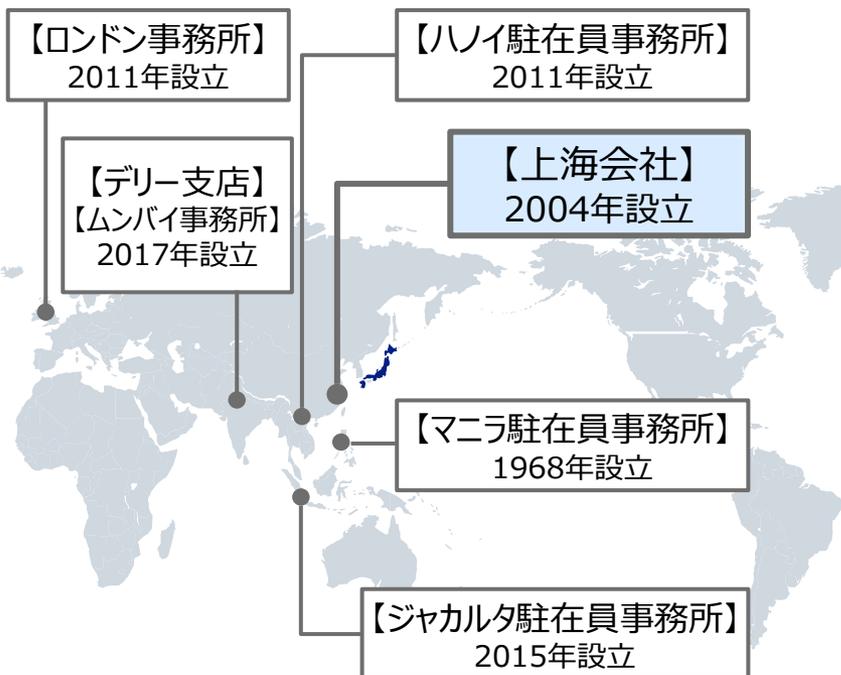
名古屋支店

③鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

- 国内で培ったノウハウを基に、海外への展開を進める
- ODA案件等で仕様交渉と商流構築力を実践

海外7拠点

■ 連結子会社 □ 支店・駐在員事務所



国内メーカーと海外鉄道事業者等を結び付け、仕様や納期の調整に加え、大手商社が持たない中小メーカーとのパイプ役として、存在感を発揮



3. 成長戦略

(2025年3月期～2027年3月期 中期経営計画)

前中期経営計画(2022年3月期~2024年3月期)の振り返り

1 ポストコロナに向け、安定成長軌道への回帰

コロナの影響は減少も半導体不足等で予定案件が後倒し

⇒ 売上計上に至らず、コロナ前の水準に届かず



2 事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出

鉄道事業者は省力化・効率化志向に変化

⇒ DX分野で自社開発ソフトウェアを提案するなどの取組みを開始



3 2024年3月期 ROE 5%

売上の未達、販管費の増大等

⇒ 2024年3月期 ROE 4.1%



中期経営計画 基本目標

前中期経営計画が未達成に終わったことを受け、新中期経営計画でも基本目標・方針を引き継ぐ

1

安定成長軌道への回帰

2

新たな企業価値の創出

3

ROE 5%超の達成

中期経営計画 基本方針・戦略

全般事項

人的資本への投資を通じて
グループの成長力強化

ヤシマキザイグループとしての
連携強化、信頼回復・向上



中期経営計画 基本方針・戦略

鉄道セグメント

既存事業の基盤強化と
付加価値の向上

成長発展分野の選定
次世代を担う新事業の開拓



中期経営計画 基本方針・戦略

一般セグメント

一般セグメントの収益性向上
投下リソースに見合う採算確保

デジタル分野

AIを活用したニーズへの対応

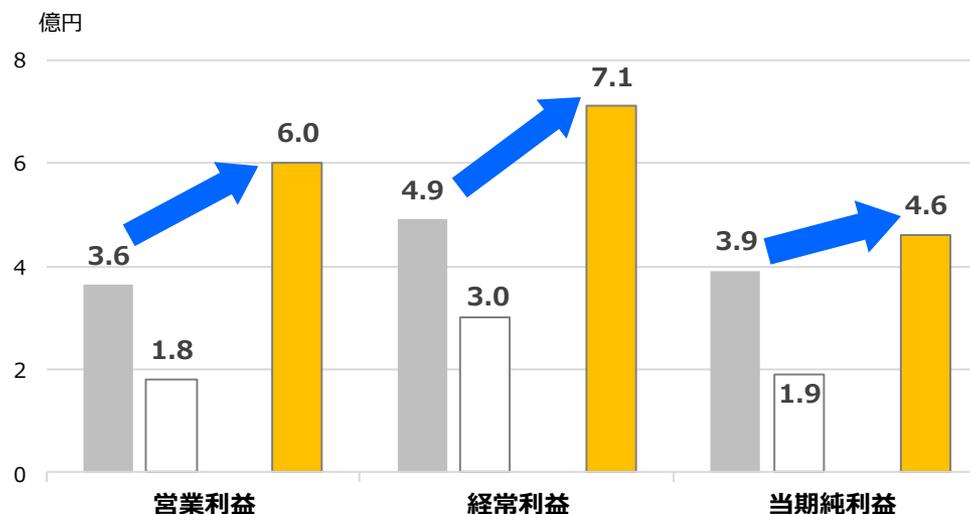
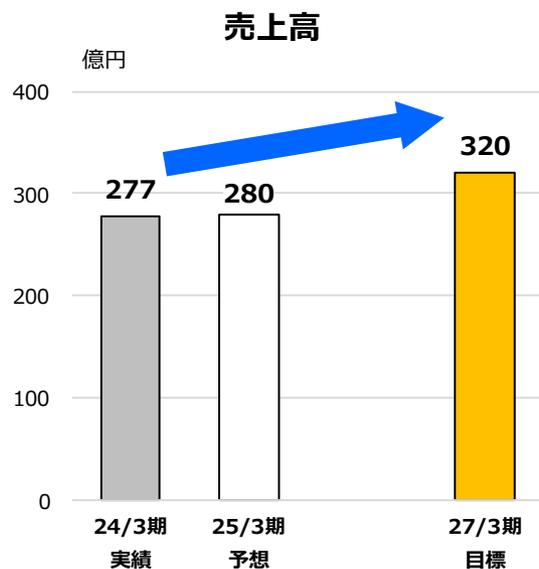
海外事業

ODA鉄道インフラ整備案件への
参画を通じてグローバル市場開拓



(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 予想		27/3期 目標	24/3期 比較
売上高	27,729	28,000		32,000	+15.4%
営業利益	364	180		600	+64.8%
経常利益	490	300		710	+44.9%
当期純利益	392	190		460	+17.3%
ROE	4.1%			5.0%	



【鉄道事業の領域拡大】

従来：車両回り中心 ⇨ 保線分野を開拓

●万博車両基地に「工作車」を搬入しました

大阪モノレール株式会社様（大阪府吹田市）向けに、鉄道車両用車両移動機を製造するアント工業株式会社様（東京都港区）経由で受注



工作車107
搬入風景



鉄道向け機関車及び保守用車
（軌道、架線のメンテナンス用車両）等を
製造する**北陸重機工業株式会社**
（新潟県新潟市）と2022年4月に
業務提携契約を締結

将来的には、元請けとして大型ODA案件の受注・履行を目指し、比較的小規模なプロジェクトに参画に、ノウハウを蓄積

フィリピンでの取組み

（下請けとしての参画①）

南北通勤鉄道延伸区間の
メンテナンス工場設備機器納入設置

（下請けとしての参画②）

マニラ首都圏地下鉄プロジェクト向け
メンテナンス工場設備機器納入設置

（元請けとしての参画①）

メンテナンス用車両の納入



バングラデシュでの取組み

（元請けとしての参画②）

信号設備機器納入・設置





4. 2025年3月期 通期業績予想

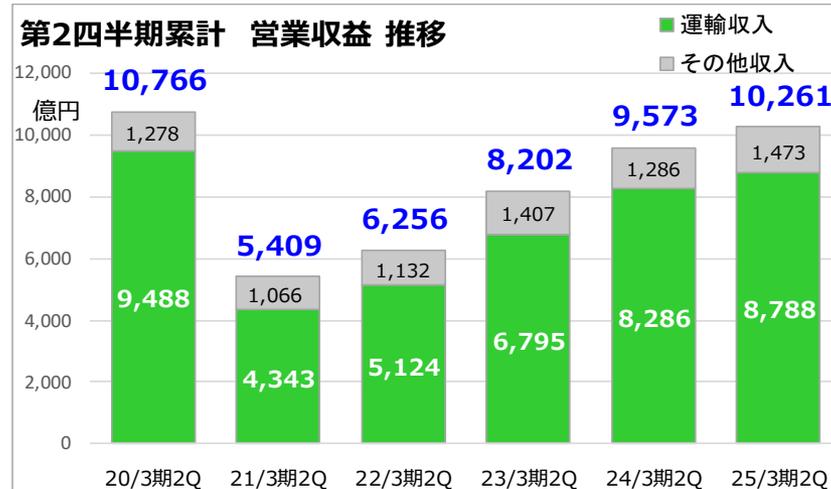
【JR各社（単体）の運輸収入】

国内旅行やインバウンド等の移動需要回復
ただし、生活様式の変化等もあり、定期券
収益等が減少し、旅客収入はコロナ前水準
には届かず

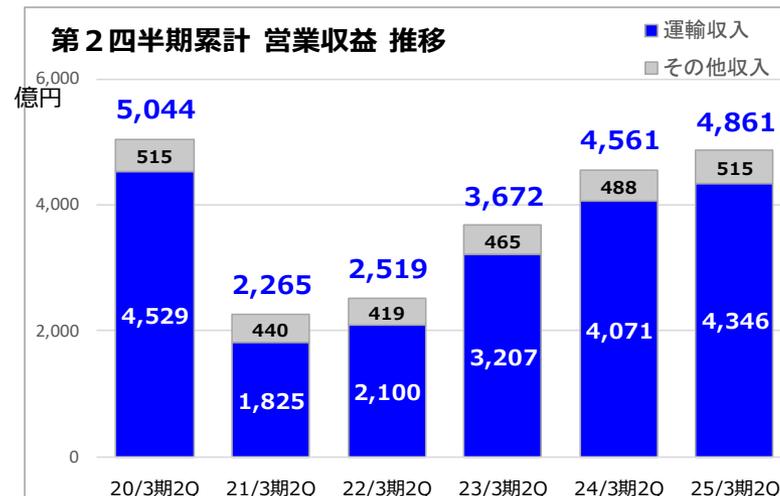
⇒JR 3社は増収増益だが、鉄道事業以外の
収益源開拓や、省力化・効率化による収
益力向上を模索

※大手民間鉄道事業者でも同様の傾向

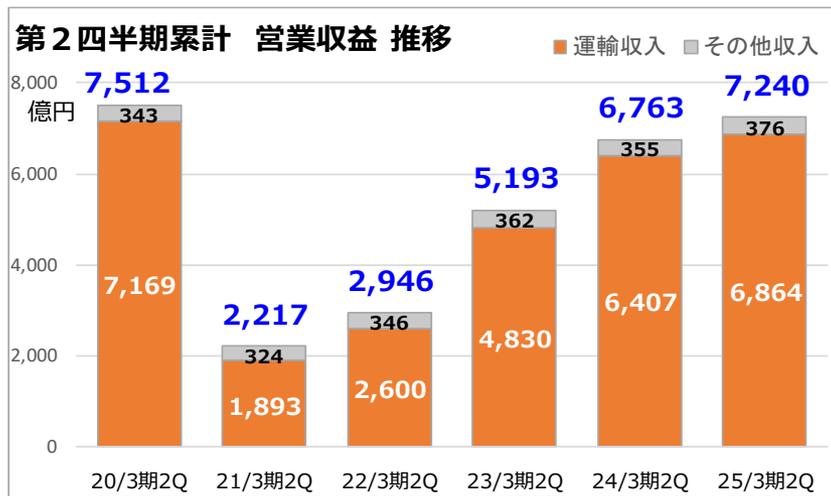
JR東日本



JR西日本



JR東海



【JR各社の設備投資意欲が回復】

旅客需要の回復により、設備投資も回復基調

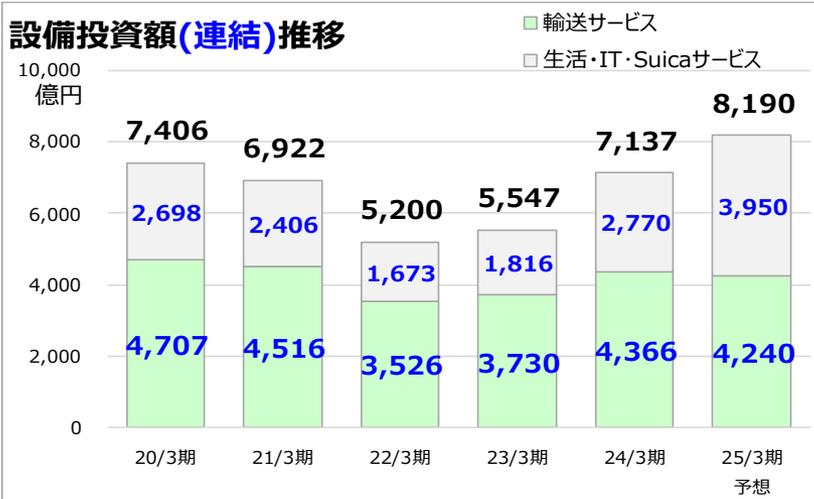
⇒25/3期はJR 3社とも

安全投資や輸送サービスに関する設備投資は横ばいから増加の計画を発表

※昨今の輪軸問題や脱線事故等の発生を受け、鉄道業界全体で安全投資への意識が高まっており、当社の受注環境も好転

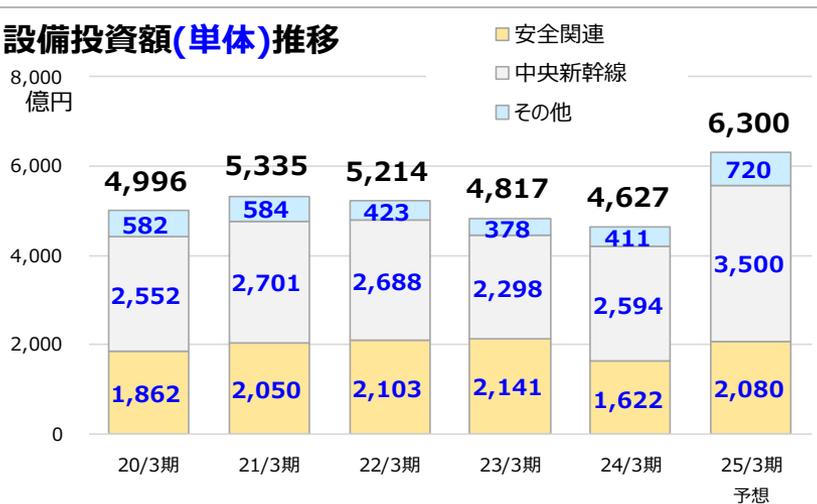
JR東日本

設備投資額(連結)推移



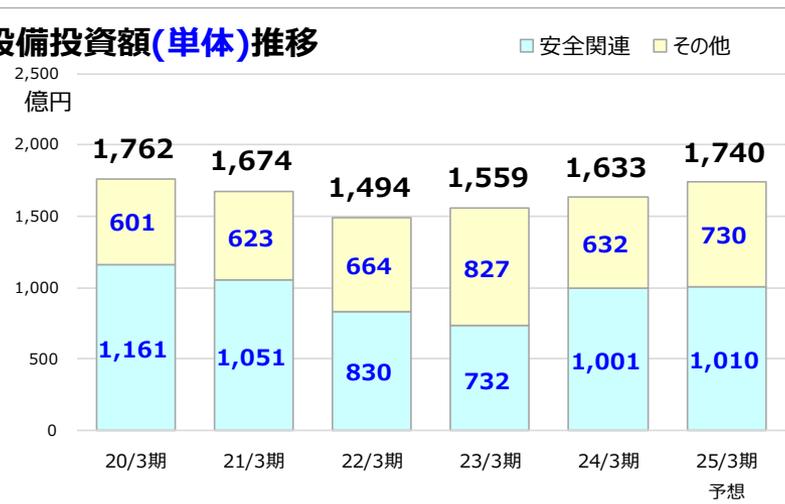
JR東海

設備投資額(単体)推移



JR西日本

設備投資額(単体)推移



■ 売上高は前年同期から増加

【鉄道事業】 旅客収入の回復は途上ながら、鉄道事業者の業績は増収増益となり、受注環境の好転を受けて増収

【一般事業】 一部業界において過去の在庫過剰手配の反動による在庫調整局面が継続し、主力の電子部品が伸びず減収

■ 営業利益・経常利益段階では減益も、 最終利益段階ではほぼ前年同期並みの水準に

金額単位 (百万円)	コロナ前 19/9累計実績	前年同期 23/9累計実績	当期 24/9累計実績	前年 同期増減	前年 同期比
売上高	15,440	12,938	12,960	+21	+0.2%
鉄道事業	14,160	11,592	11,863	+271	+2.3%
一般事業	1,284	1,346	1,096	▲250	▲18.6%
売上総利益	1,845	1,735	1,659	▲75	▲4.4%
販売費及び一般管理費	1,779	1,813	1,807	▲5	▲0.3%
営業利益	66	▲77	▲147	▲69	—
営業外収益	90	87	108	+21	+25.1%
営業外費用	36	14	145	+130	+878.5%
経常利益	120	▲5	▲184	▲178	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	▲146	▲152	▲5	—
ROE	1.0%	▲1.6%	▲1.8%		

【売上高】 …増収も限定的

主として鉄道事業者の業績回復と投資意欲の高まりを受けて、期首時点の受注残高が24/3期を上回っている他、新規受注も好調で案件の取扱高ベースでは前年度を上回る

⇒収益認識会計基準による表示の関係で、売上高の数値としては大きく伸びず

【売上総利益】 …減益

高利益率案件の減少

- 新幹線の新車製造の端境期
- 発変電設備の大規模定期点検が前年度は実施済み

⇒対策として、物価高を受けた値上げ交渉を継続中で、一部で成果も

【営業利益】 …減益

経費面では、前年度並み

(今年度) 賃上げや営業活動費用が増 ⇐ 相殺 ⇒ (前年度) 不適切会計対応費用発生

⇒売上総利益の減少分、営業利益も減少

2024/5/15公表の通期業績予想を維持

- 当初想定より受注は好調も表示の関係で売上高に大きな影響はなく、持分法適用会社に係る営業外費用と特別利益については、未収入金回収への取組みを継続中で流動的な情勢

金額単位 (百万円)	24/3期 実績	25/3期 予想	増減	前期比
売上高	27,729	28,000	+271	+1.0%
営業利益	364	180	▲184	▲50.7%
経常利益	490	300	▲190	▲38.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	392	190	▲202	▲51.5%

記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

A blue-tinted photograph of a high-speed train on tracks. The train is white with a sleek, aerodynamic nose. It is positioned on a set of tracks with gravel ballast. Above the tracks, there is a complex network of overhead power lines and support structures. The background shows a clear sky and some distant buildings.

5. 配当・株主還元

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実や、収益性、成長性、企業体質の強化等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

	22/3期	23/3期	24/3期	2025/3期 (予想)
1株当たり年間配当額	25.00円	25.00円	25.00円	25.00円
1株当たり当期純利益	105.97円	▲90.78円	137.16円	66.33円
配当金総額（合計）	71百万円	71百万円	71百万円	—
配当性向（連結）	23.6%	—	18.2%	37.7%

2025/3期は安定継続配当の面から **1株当たり年間配当額は25.00円とする方針です。**

現時点での配当性向は37.7%となる予想です。

9月末に100株以上を保有する株主様を対象に、株主優待を行っています。

株主様の日頃のご支援への感謝と、当社株式への魅力をより一層高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的としています。

保有株式数及び保有期間に応じて優待ポイントが贈呈され、そのポイントの特設サイト「**ヤシマキザイ・プレミアム優待倶楽部**」にて、2000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。（社会貢献活動への寄付も可能です）

※優待ポイントは最大2回まで繰越可能です。

※株式の長期保有には長期保有特典としてポイントが加算されます。

YASHIMA
株式会社ヤシマキザイ



Premium
プレミアム優待倶楽部



6. トピックス

1. 出品型鉄道専門フリーマーケットサイト「鉄道ひろば」

当社は、創業以来、広く鉄道業界に携わる中で、鉄道のすばらしさとその価値を目の当たりにしてきました。

その価値を広く発信・共有したいという思いから、鉄道事業者や鉄道関連企業が鉄道古物や鉄道グッズ等を出品できる「鉄道ひろば」を2022年12月1日にオープンし、出品企業や商品ラインナップも順次拡大しております。

この取り組みが出品企業のマーケット拡大や収益向上と、鉄道沿線地域活性化の一助となることを願っております。

なお、**株主優待制度でお渡しするポイントを「鉄道ひろば」のクーポン券と交換することが可能です。**（交換時期は11月中旬～2月末の予定）



鉄道ひろば

<https://www.tetuhiro.com/>

WEBサイト



Instagram



【「鉄道ひろば」のサイト画面】

コンビニ決済手数料 0円！

ご利用ガイド

[カテゴリから探す](#)
[出品企業から探す](#)
[鉄道ひろばについて](#)

[ログイン](#)
[♡](#)
[🛒](#)
[🔍](#)

HOME > 鉄道古物

商品検索

すべての商品

[カテゴリから探す](#) +

[出品企業から探す](#) +

おすすめ商品

商品の
「カテゴリ」や
「出品企業」ごとの
検索が可能です。

鉄道古物

新着順 ▼



中古品
由利高原鉄道 ドアスイッチ
(内側) 5,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 ドアスイッチ
(外) 3,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 3002形ヘッド
マーク 30,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 YR2001形おも
ちゃ列車ヘッドマーク 80,000円 (税込)



中古品
6月1日(土)発売開始【つ
くばエクスプレス】マップ式
表示器 (2側)



中古品
6月1日(土)発売開始【つ
くばエクスプレス】マップ式
表示器 (1側)

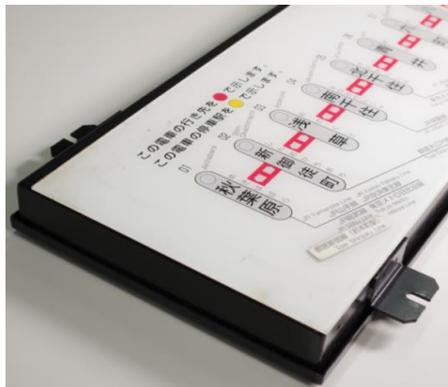


中古品
6月1日(土)発売開始【つ
くばエクスプレス】非常通報
装置



中古品
由利高原鉄道 ガスリントーチ
10,000円 (税込)

【「鉄道ひろば」の主な商品ラインナップ】



鉄道古物



鉄道グッズ



鉄道イベント（運転体験等）



食品

ほか各種

【出品企業（一例・敬称略）】

つくばエクスプレス 京王電鉄 高松琴平電気鉄道 土佐くろしお鉄道
長良川鉄道 宇都宮ライトレール…

ほか全国の鉄道事業者様・鉄道関連企業様



商品・出品企業を順次拡大中！

ぜひWEBサイトをご覧ください！



鉄道ひろば
<https://www.tetuhiro.com/>

WEBサイト



Instagram



2. システム開発による提案営業の推進

SaaS型販売管理システム『ハチヨDX』を2024年4月1日リリース！



【4つのポイント】

- ① 各業界対応可能な**クラウド型**管理システム!
- ② 少量多品種の部材に秀でた**販売・調達・在庫管理**ができる!!
- ③ 一般の販売管理パッケージに比べて**安価**に導入可能!
- ④ **シンプル**な操作性、だれもが使いやすいデザイン!

『ハチヨDX』

(<https://hacho.co.jp/LP/>)
是非Webサイトをご覧ください!

ハチヨDX 🔍

3. ハイウェイテクノフェア2024への出展

道路インフラ業界への拡販活動の一環として、2024年9月26日～27日に東京ビッグサイトで開催された『ハイウェイテクノフェア2024』に出展し、113社239名の方々にご来場いただきました。

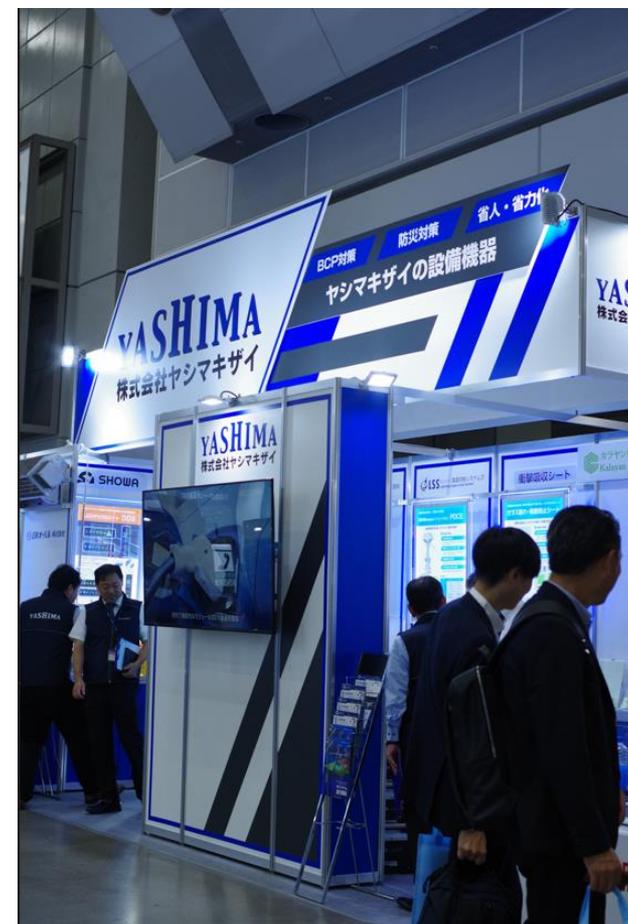


ハイウェイテクノフェアは、公益財団法人 高速道路調査会が主催し、高速道路の建設・管理技術の普及や活用を促進するとともに、高速道路事業について広くお客様や社会の理解を得ることを目的に、「高速道路の建設・管理技術」に焦点をあてて開催される展示会です。

当社のテーマを

「BCP対策」・「防災対策」・「省人化・省力化」とし、

- ・ネットワーク(フリーズ)監視機器
 - ・免震装置、
- などを出展いたしました。



4. 新交通システムへの取り組み

【資本業務提携契約の締結】

2024年8月に自走式ロープウェー「Zippar」を開発する
Zip Infrastructure（ジップ・インフラストラクチャー）**株式会社**
（福島県南相馬市）への資本参加を実現いたしました。

SDGsの
観点からの
社会貢献

次世代交通
インフラへの
早期参画

本稼働後の
メンテナンス
体制の確立

⇒ **企業価値向上と、将来的な収益源の開拓を目指しています**

<「Zippar」の主な特徴>

空間の有効活用	デッドスペースとなっている道路上の空間などを有効活用
低コスト	既存のモノレールの半分の輸送量を、約1/5のコスト・期間で建設可能
自動運転	時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数の増減が可能
自由設計	ロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐に対応可能
安全対策	ロープを2本とし、通常ロープウェイの1.5倍の風速まで運行可能

これにより、既存の交通インフラの隙間を埋め、渋滞緩和や街づくりに貢献。

Zip Infrastructure社 ウェブサイト

<https://zipinfra.co.jp/index.html>

も、ぜひご覧ください。



自走式ロープウェイ「Zippar」試作車

自走式ロープウェイ「Zippar」 実験線の映像



鉄道事業者等はコロナ以前の水準への回復途上であり、当社を取り巻く環境には未だ厳しい部分もありますが、当社はその活動を通じてステークホルダーの皆様、そして社会に役立てるように努めてまいります。

本日はご多忙中にも関わらず、I Rセミナーにご参加を頂きまして、ありがとうございました。

これからもヤシマキザイをよろしくお願い致します。

ご清聴、ありがとうございました。

(7677) 株式会社ヤシマキザイ

2024年 12月 11日 個人投資家向け I Rセミナー

(主催：公益社団法人日本証券アナリスト協会 会場：北浜フォーラム)

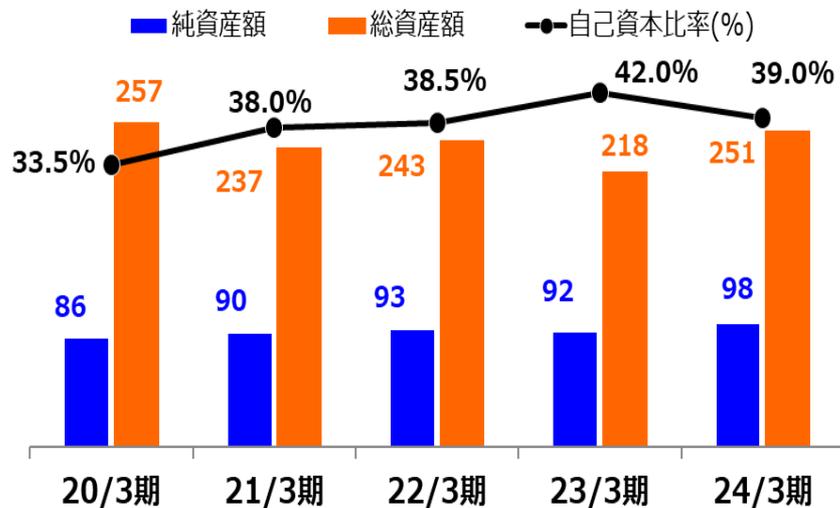


7. ご参考資料

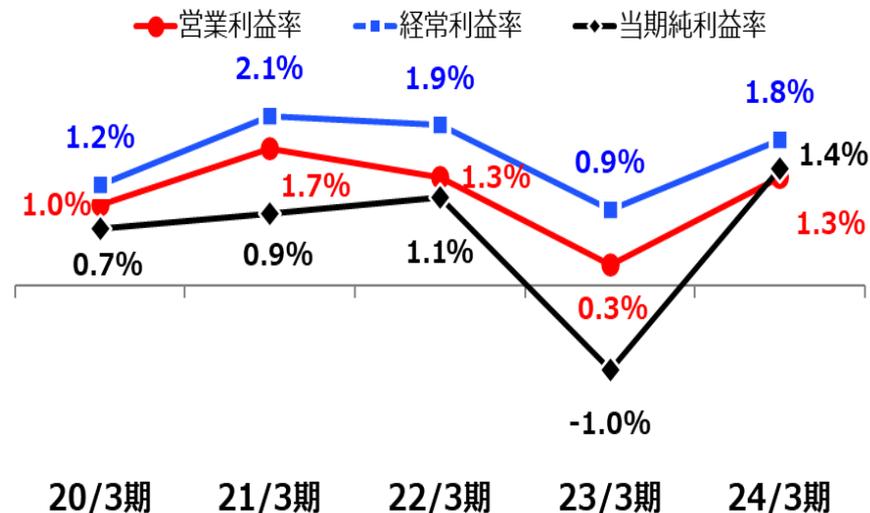
年月	概要
1948年10月	香西角三郎他6名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に八洲器材株式会社として設立
1951年8月	振興造機株式会社（現 神鋼造機株式会社）と代理店契約を締結
1962年4月	株式会社日本エアーブレーキ（現 ナブテスコ株式会社）の販売代理店となる
1965年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け販売代理店となる
1971年8月	神鋼電機株式会社（現 シンフォニアテクノロジー株式会社）の販売代理店となる
1977年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の特約店となる
1990年4月	小糸工業株式会社（現 コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の特定地区向け代理店となる
1995年4月	東京都中央区に子会社 ヤシマ物流株式会社 設立（100%出資）
2004年4月	中国現地法人 亜西瑪（上海）貿易有限公司 を設立（100%出資）
2008年1月	三友物産株式会社 を子会社化（100%出資）
2011年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の販売代理店となる
2013年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町6番5号）
2013年12月	当社の商号を株式会社ヤシマキザイに変更
2017年4月	三友物産株式会社 を吸収合併
2019年6月	東京証券取引所 市場第二部に上場
2022年4月	東京証券取引所 市場区分の見直しにより 市場第二部からスタンダード市場に移行

社名	株式会社ヤシマキザイ 【英文名】Yashima & Co.,Ltd.					
本社	東京都中央区日本橋兜町6番5号					
代表者	代表取締役社長執行役員 高田 一昭					
設立	1948年10月28日					
資本金	9,990万円					
従業員数	250名 (2024年3月末現在 連結)					
事業内容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入					
連結子会社	名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有 (又は被所有)割合	関係内容
	ヤシマ物流 株式会社	東京都 中央区	40,000 千円	鉄道事業、 一般事業	100.0%	物流業務等の委託
	亜西瑪(上海) 貿易有限公司	中国 上海市	1,000 千US\$	鉄道事業、 一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証
※両社とも特定子会社 ※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。						
海外拠点	デリー支店、ムンバイ支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所 ■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳					

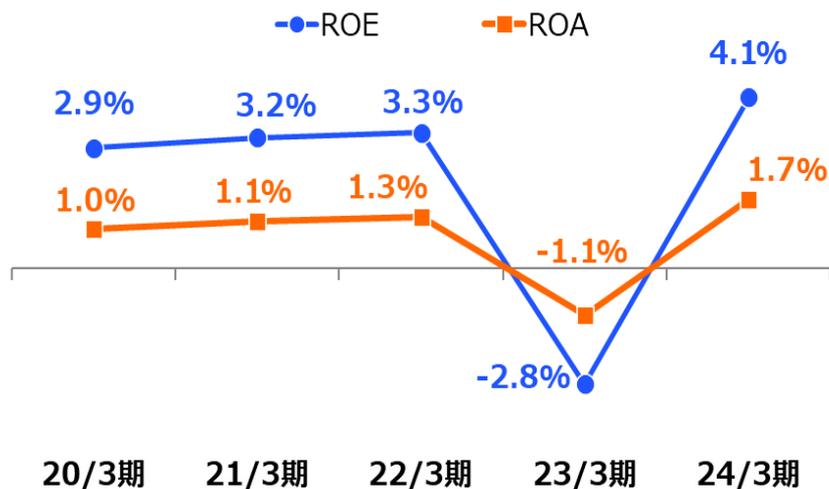
総資産・純資産の推移 (億円)



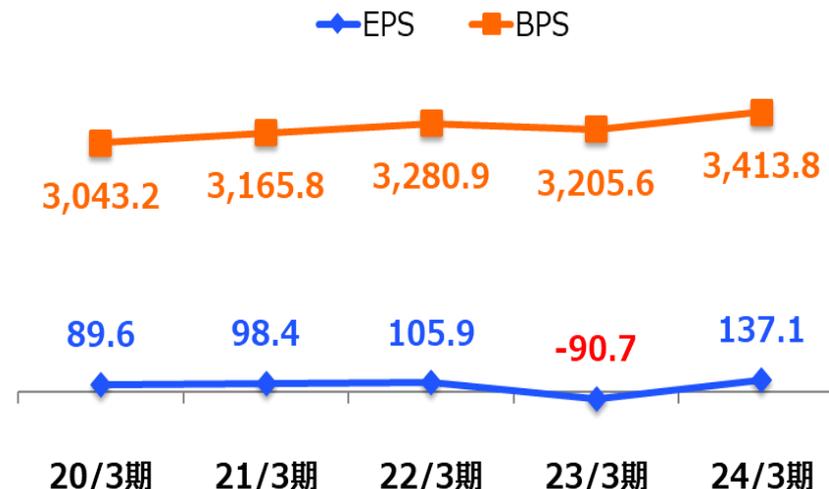
利益率の推移



ROE・ROAの推移



EPS・BPSの推移



【経営理念】

- 一． ヤシマキザイは、鉄道・交通ビジネスに強い専門商社として、限りの無い成長を目指します
- 二． ヤシマキザイは、人材育成を通して、会社の成長を社員と分かち合います
- 三． ヤシマキザイは、法令を遵守し、良き企業市民として社会に貢献します

【行動準則】

- 一． 3現主義（「現場」「現物」「現実」）を基本にして行動する
- 二． コンプライアンス行動原則に基づき行動する



東証スタンダード市場 証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ <https://www.yashima-co.co.jp/>

【お問い合わせ先】 経営企画室

TEL：03-4218-0096

E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp